

資料提供
令和7年12月25日
危機管理部危機対策課
課長 谷内 勇人
電話：076-225-1482

令和6年能登半島地震における災害関連死の概況(第37回審査会まで)

(1)性別

	男性	女性	合計
人数	215	234	449
割合	47.9%	52.1%	

(2)死亡時の年代

	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代
人数	0	0	0	1	1	5
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	1.1%
	60代	70代	80代	90代	100歳以上	合計
人数	18	56	180	169	19	449
割合	4.0%	12.5%	40.1%	37.6%	4.2%	

(3)発災から死亡までの期間

	1週間以内	1ヶ月以内	2ヶ月以内	3ヶ月以内	半年以内	1年内	1年以上	合計
期間	R6.1.1-R6.1.8	R6.1.9-R6.1.31	R6.2.1-R6.2.28	R6.3.1-R6.3.31	R6.4.1-R6.6.30	R6.7.1-R6.12.31	R7.1.1-以降	
認定数	44	103	78	61	107	53	3	449
割合	9.8%	22.9%	17.4%	13.6%	23.8%	11.8%	0.7%	

(4)既往歴の有無

	あり	なし	不明	合計
認定数	430	6	13	449
割合	95.8%	1.3%	2.9%	

(5)原因区別 (複数選択あり)

項目	件数	割合
地震のショック、余震への恐怖による肉体的・精神的負担	395	88.0%
電気、水道等の途絶による肉体的・精神的負担	233	51.9%
社会福祉施設の被災による介護機能の低下	209	46.5%
避難所等生活の肉体的・精神的負担	176	39.2%
転院、悪路・長時間の搬送等による負担(転院以外の複数回の移動も含む)	83	18.5%
新型コロナウイルス・インフルエンザ感染などに伴う身体機能低下	72	16.0%
医療機関の被災による機能停止・低下(初期治療の遅れを含む)	36	8.0%
交通事情等による治療の遅れ	12	2.7%
救助・救援活動による心身の負荷	1	0.2%
その他(地震発生時における負傷など)	11	2.4%

※現時点での区分・数値であり、今後変更となる可能性があります。

(6)死因区分 (ICD-10に基づく)

死因分類	件数	割合
感染症	10	2.2%
悪性新生物	19	4.2%
血液疾患	2	0.4%
内分泌代謝異常	3	0.7%
神経疾患	1	0.2%
心血管疾患	136	30.3%
呼吸器疾患	126	28.1%
消化器疾患	12	2.7%
皮膚疾患	1	0.2%
筋骨格・結合組織疾患	1	0.2%
腎尿路生殖器疾患	14	3.1%
老衰など	88	19.6%
環境障害(低体温)	5	1.1%
自殺	4	0.9%
不慮の外因性・事故など	13	2.9%
COVID-19	14	3.1%
合計	449	